

3訂版 T O E I C のしおり

著者：池田映之

(目次)

1. はじめに	4
2. リスニング	5
3. リーディング／総論	8
4. リーディング／各論	9
5. その他補足（1）／試験場	10

1 はじめに

平成 28 年 5 月にこの試験が実施されますが、2 訂版とどのように異なるかを説明します。

- (1) パート 1 の設問数が 10 問から 6 問に減る
- (2) パート 2 の設問数が 30 問から 25 問に減る
- (3) パート 3 の設問数が 30 問から 39 問に増える
- (4) パート 5 の設問数が 40 問から 30 問に減る
- (5) パート 6 の設問数が 12 問から 16 問に増える
- (6) パート 7 の設問数が 48 問から 54 問に増える

ETS や IIBC は、ホームページでは「問題の品質を変えない」と述べてはいますが、基本問題の設問数が減り、応用問題の設問数が増えている為、2 訂版よりも内容が難しくなっています。

2 リスニング

出題形式こそ2訂版と変わりますが、リスニングの対策は基本的に同じです。パート1とパート2では、原則的に文法、例外的に文脈を押さえた上で設問を解く事になります。

2訂版、パート3では口語的な表現はあまり出ませんでした。3訂版ではここ10年間の商取引を題材としており、口語的な表現、答えを要点のみに留めて省略した表現が頻出します。これらにも対応する必要がある訳です。

これらが絡む設問に答える場合、文脈からも判断できますが、映画館やD V D等で映画を見てこれらに馴染むのも重要です。設問を先に読み、該当箇所を突き止める方法が最も効果的で、この方法はパート7でも有効です。

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。